



田原の杜

北九州市立田原中学校

学校通信 1月号 No.13

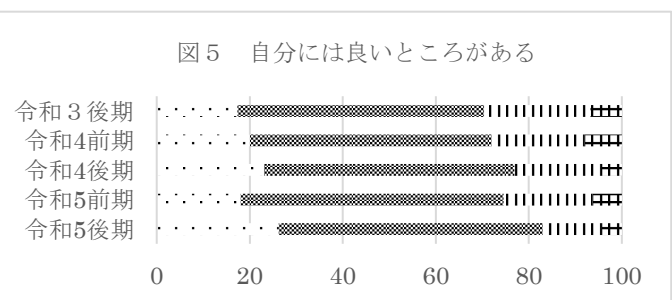
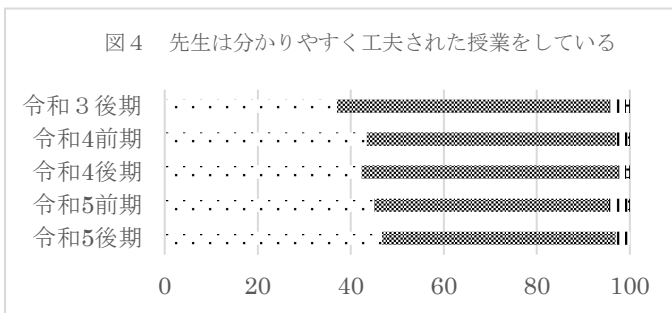
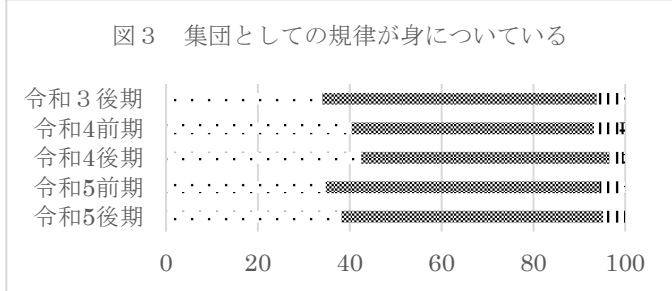
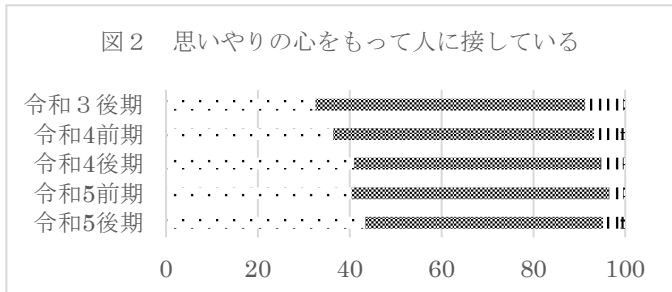
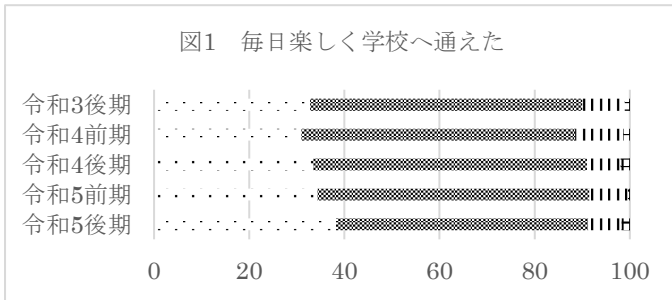
発行責任者 校長 寺田 訓康

TEL 472-3321

令和5年1月12日発行

■ 皆さんの頑張りを成果につなげよう！

皆さんの頑張りが学校評価にも現れました！



※上のグラフは、左から「大変当てはまる」「当てはまる」「当てはまらない」「全く当てはまらない」の順番です。

2学期の終わりに生徒の皆さんと保護者の皆さん・先生方にアンケートを取りました。その結果をこれからの田原中学校に活かしていきたいと思っています。

ある調査によると、「生徒と先生の関係が良く」、「自分に誇りを持ち」「自分で自分を律することができる（みんなのために自分のやりたいことを我慢できるなど）」ができる人は成績向上が望めるそうです。その視点で、皆さんの結果を見てみたいと思います。

図2は「思いやりの心をもって人に接していますか」の結果です。年を経るごとに「大変当てはまる」と回答している割合は増加しています。また、「大変当てはまる」と「当てはまる」と回答した人の割合も少しずつですが増加しています。図3の「集団としての規律が身についている」という質問では「全く当てはまらない」と回答した人がいませんでした。時には、約束を守れない時もあるけれど、みんな守ろうと努めてくれているということで、皆さんの学校生活を見てみるとそのように感じます。図4の「先生は分かりやすく工夫された授業をしていますか」では、「大変当てはまる」と回答した割合が増加しています。そして、「大変当てはまる」と「当てはまる」と回答した人の割合は、校長先生が経験した学校では、ダントツで多い割合です。図5「自分には良いところがある」は、前期(1学期)よりも後期(2学期)でグンと伸びました。自己有用感(自分は良いところがあってみんなの役に立っていると感じている)を伸ばしたいと先生たちは考えていたので、大変うれしい結果でした。最後に図1の「毎日楽しく学校へ通えた」も増加しています。みんなが楽しく通える学校を目指しているので、「当てはまらない」「全く当てはまらない」がいなくなるようにこれからも取り組んでいきます。

この結果から、生徒の皆さんは、先生たちの授業を好意的に受け入れてくれるなど、生徒の皆さんと先生の良好な関係を感じられます。また、学校の規則も守ろうとし、周りに思いやりをもつなど、他者のために頑張っていこうという気持ちが見えます。そして、自分には良いところがあると自分に誇りをもっている人も増えつつあります。このように、成績が上がる条件は整いつつあります。

ただ、課題もあります。一つは自分に誇りを持っている割合は増加しているのですが、全国の割合から見るとまだ高くありません。そしてグラフは載せていませんが、残念なことに学習時間が前期よりも後期が減少しました。学習時間と合わせて、友達の田原ノートの使い方など、効果的な学習方法を身に付けて、成果につなげていきましょう！そして、成果を出してまた、自分への誇りを高めましょう！

最後になりましたが、ご回答いただいた400名弱の保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。皆様の声も参考に、開かれた学校づくりに努めてまいります。今年もよろしくお祈りいたします。

